



船橋市議会議員選挙 民主党公認

みっはし

三橋さぶろう

(36歳)

学校トイレの洋式化推進に取り組む！

皆さんのお宅のトイレは「洋式」でしょうか？ それとも「和式」でしょうか？ 多くのご家庭では「洋式トイレ」をお使いだと思えます。平成元年以降、新築住宅の99%が「洋式トイレ」というデータもあります。しかし、船橋市内の小学校のトイレ 2,636 箇所のうち洋式トイレは 1,176 箇所（約44%）、中学校のトイレ 1,327 箇所のうち洋式トイレは 566 箇所（約42%）といまだに半数以上が「和式トイレ」です。

(裏面に続く)

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県生まれ（36歳）
- 2001年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ勤務
江東区健康スポーツ公社勤務
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 特技： クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック
ク日本代表コーチ
- 家族： 妻、息子（2歳）

ご意見をお聞かせ下さい。

FAX:050-3488-3190

e-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

学校トイレの洋式化で快適な学校生活

普段使うトイレは洋式がほとんどなのに、学校のトイレは和式が多いというのは子どもたちにとって使用しにくいのではないのでしょうか？実際に小学生から学校トイレの改善要望も多く聞く機会もありました。

教育現場の学校から「和式トイレ」を無くしてしまうというのは正しい判断とは言えません。しかし「和式トイレ」と「洋式トイレ」との割合を見直すべきではないのでしょうか。子どもたちの多くは「和式トイレ」を使うことにストレスを感じているそうです。学校トイレの洋式化を推進することは学校教育の環境を良くすることにもつながります。

学校トイレの洋式化のメリット



学校トイレの洋式化推進は子どもたちの学習環境を良くするだけではありません。学校トイレの洋式化は以下の理由からも必要だと考えます。

【災害時に安心】

災害時、避難所となる学校が「和式トイレ」だと高齢者や障がい者が使いにくく使用に苦勞されることが予想されます。実際に東日本大震災で避難所だった学校が「和式トイレ」中心で使いにくく被災者が苦勞されたそうです。

【水道料金の削減】

「和式トイレ」は1回水を流すと約15リットル必要なのに対し、「洋式トイレ」では約5リットルですみ、水の使用量が約1/3になります。節水できて水道料金も削減し、環境にも優しくなります。

船橋市も学校トイレの洋式化に取り組んでいますが、市議会も早急に「洋式トイレ」が学校に普及するよう努力していくべきだと考えています。

2015年2月1日 三橋さぶろう

三橋さぶろう後援会

〒274-0063 船橋市習志野台5-11-7

TEL: 070-5360-3260

FAX: 050-3488-3190

e-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp